活用効果評価結果

平成28年度

公開用

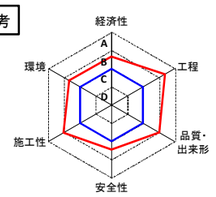
中国地方整備局 ／ 新技術活用評価会議

NETIS情報	開発目標	経済性の向上、作業環境の向上、品質の向上				
	新技術登録番号	HR-050011-VE	区分	製品	有用な技術の位置づけ	活用促進技術
	分類	共通工 ― 擁壁工 ― プレキャスト擁壁工				
	新技術名	Gベース （道路工において安全施設設置(たわみ性防護柵の基礎ブロック)）				
	比較する従来技術（従来工法）	場所打ち防護柵基礎				
	新技術の概要及び特徴	防護柵用基礎ブロック「Gベース」は、現場打ち防護柵基礎での経済性・施工性・安全性の問題を大幅に改善した工法である。				

活用効果評価	所　見	〔経済性〕 ・本技術の経済性については、現場での作業が減少するため、従来技術のコストに対して優れる。 〔工程〕 ・車両用防護柵基礎の型枠組立、コンクリート打設・養生が不要となるため、工程短縮が図られ優れる。 〔品質・出来形〕 ・二次製品のため品質にばらつきがなく、品質・出来形に優れる。 〔安全性〕 ・本技術の安全性については従来技術に対して同等である。 〔施工性〕 ・現場での型枠工、鉄筋工、コンクリート工がなくなり、現場での作業が省力化され、施工性に優れる。 〔環境〕 ・型枠材等が不要となり、産業廃棄物排出量を抑制できることから環境に優れる。
	次回以降の評価に対する視点と評価の必要性	・評価結果は安定している。また、従来技術も妥当と判断できるため継続調査は実施しない。よって、次回以降の評価は不要とし、情報種別記号「-VE」とする。
	留意事項	・曲線区間では、事前に製品の割付を検討する必要がある。 ・重機によるクレーン作業となるため、重機の配置計画及び作業計画の検討が必要である。
	当該技術における改良点及び要望	・特になし

項目の平均（点）と従来技術（従来工法）（点）の比較

参考



参考 活用効果調査結果

対象工事：右表参照

施工時評価

	項目の平均（点）	従来技術（従来工法）（点）
経済性	B	C
工程	B	C
品質・出来形	B	C
安全性	C	C
施工性	B	C
環境	B	C
その他		
総合評価点	B	C

今後、当該技術を活用出来る工事に活用したいか				
今後も是非活用したい	活用を検討したい	場合によっては活用することもある	技術の改良を強く望む	
26% [5件/19件]	63% [12件/19件]	11% [2件/19件]	―	

各項目における判定	
A	従来技術より極めて優れる
B	従来技術より優れる
C	従来技術と同等
D	従来技術より劣る

追跡調査の必要性	評価において耐久性等の経過観察が必要な工法でないため、追跡調査は必要ない。
追跡調査	なし

参考 活用効果調査結果

対象工事

1	ランプ改良工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
2	改良工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
3	管理用道路整備工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
4	国道改良他工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	施工者希望型(契約後提案)
5	残土処分場整備工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	施工者希望型(契約後提案)
6	防災工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
7	連絡路整備工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	施工者希望型(契約後提案)
8	防災工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
9	改良工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
10	舗装工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
11	改築工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
12	道路整備工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
13	橋工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
14	改良工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
15	道路整備工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
16	道路建設工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	施工者希望型(契約後提案)
17	橋梁補強他工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	施工者希望型(契約後提案)
18	改築工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
19	改築工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
20	整備工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
21	歩道整備工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
22	堰堤管理用道路工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	施工者希望型(契約後提案)
23	擁壁工外工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
24	改築工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	施工者希望型(契約後提案)
25	舗装工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
26	側道整備工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	施工者希望型(契約後提案)
27	舗装工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
28	舗装工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	施工者希望型(契約後提案)
29	ランプ他舗装工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	発注者指定型
30	工事用道路外工事	従来技術：場所打ち防護柵基礎	施工者希望型(契約後提案)

施工時評価

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	H22	H23	H23	H23	H24	H24	H24	H24	H24	H25	H25	H25	H25	H25	H25
経済性	C	B	C	C	C	B	C	B	B	C	B	B	C	B	C
工程	A	A	A	A	A	B	A	A	A	B	B	B	B	B	B
品質・出来形	A	B	A	B	C	B	A	B	B	B	B	B	B	A	B
安全性	C	C	C	B	C	C	B	C	C	B	B	B	B	C	B
施工性	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	A	A
環境	A	C	B	B	C	C	C	B	C	B	B	B	B	B	B
その他															
総合評価点	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B

	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	H25	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H26	H27	H27
経済性	B	B	B	B	C	A	B	B	B	B	B	B	B	C	B
工程	A	B	A	A	A	A	B	B	A	A	B	B	B	B	B
品質・出来形	A	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	C	B
安全性	B	C	C	B	B	A	C	B	B	B	B	C	C	B	B
施工性	A	B	A	B	A	A	B	B	B	B	B	B	C	B	B
環境	B	B	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	C	B
その他															
総合評価点	B	B	B	B	B	A	B	B	B	B	B	B	B	B	B